



外国出張報告書

平成 26 年 7 月 22 日

1. 出張国名 マレーシア
2. 出張月 平成 26 年 6 月～7 月
3. 出張目的 セラングール海域におけるハイガイ漁場調査：C

4. 成果の概要

マングローブにおいて重要な生態的地位を占めるハイガイの持続的生産を達成するため、対象海域に適した生態系モデルを作製し同漁場の環境収容量を評価する。

また、同モデルを基に漁場に最適な漁業管理手法を導き出すとともに、これらの結果を地域レベルの漁業管理に反映させることを本課題の主目的としている。

今回の出張では、これまでの生態調査で不足していた知見を補完するため、セラングールの 4 つの主要漁場で継続実施しているハイガイ成長率調査の 7 月の調査データの収集を行った。

また、マレーシア水産研究所の所長およびカウンターパート、水産局バイオセキュリティーセンターおよびマラヤ大学の各プロジェクト関係者と研究打合せを実施した。